

目黒労協 2023年秋季年末闘争ニュース

目黒労協 第72回定期大会

No.24-02 2023年12月1日
発行:目黒地区労働組合協議会/教宣部
【HP】<http://meguro-rokyo.jp/>
メール:union@r05.itscom.net



11月11日(土)の午後、東京土建目黒会館にて、目黒労協第72回定期大会が開催されました。今年は久しぶりに規約通りの代議員数(*この3年は1組合1名で開催してきた)で開催。参加できない3労組からも文書報告がありました。大会は無事成立。役員含め、複数の参加労組もあり、参加全労組から発言がなされました。労協ニュース大会特集号(24-01号)に掲載しています。



第6号議案

大会宣言(案)

私たちは本日、目黒地区労働組合協議会・第72回定期大会を開催し、2023春闘の賃上げや、最賃引上げを上回る物価高騰のなか、さらなる全労働者の賃上げが必要とされる情勢を確認するとともに、向こう1年間の方針を確認・決定しました。

日本の実質賃金は、この10年で年間24万円減少し、さらに1996年のピーク時から64万円も落ち込んでいます。欧米各国では、物価上昇のなかで賃上げが行われており、この30年間で賃金は1.5~2倍に増えていますが、日本だけは10%も下がっているということが、広く指摘されています。先進国の中で日本は低賃金の国になってしまいました。

また、新型コロナウイルスに対する各国の政策の違いが、経済活動の回復に差を生じています。国民生活に目を向け、さらには中小・零細企業の経営を支援する、思い切った政策に重点を置いた政治を進めて欲しいところです。

世界的な物価の高騰と、円安が続いています。今年、最低賃金が全国加重平均で1,000円を超えましたが、「地域別」制度のため、地域格差が200円以上あります。2割以上の労働者の賃上げに影響するといわれる最低賃金の引き上げが、日本の賃金を下支えています。引き続き全国一律1,500円以上を目指し、運動をすすめていきましょう。来年の2024春闘では、物価上昇を上回る賃上げを求めていきましょう。

世界では、ロシアのウクライナ侵襲、イスラエル・パレスチナでの武力抗争が起こり、日本周辺国での軍事拡大を機に、岸田政権は軍事費の大幅増額を打ち出しています。戦争をしない・させない、平和で生活していける日本を求め運動を進めましょう。

目黒労協は、加盟組合の一致する要求と課題で、共同の闘いを進める組織です。一人でも加入できる地域労組「めぐろユニオン」や、「JMITU 目黒地域支部」とともに、労働者の組合づくり、組合加入をすすめるながら、労働条件改善・賃金引き上げを求め活動を進めます。

物価高騰に対し、非正規の「ボーナスゼロは差別だ」や、賃上げ・一時金増額、そして最低賃金のさらなる引き上げを訴えます。

働く者の権利を守り、格差・貧困の解消へ、地域の働く人たちの団結をもっと大きくし、取り組みもさらに強くしていきましょう!

以上、宣言します。

2023年11月11日
目黒地区労働組合協議会第72回定期大会

目黒労協大会に参加して

労働組合があっても、事実上無きに等しい組合や、運営に苦勞している組合など、悩みは様々だ。例えば労協事務局長(*職場では書記長)の報告によれば、東工大は医科歯科大との統合問題を抱えている。組合の対応も相当な苦勞だろう。そんな事務局長が、これからの労働組合は「1人でも入れる労働組合」が重要になるだろう、と示唆したことに驚いた。我がJMITU 目黒地域支部の存在感が増すかもしれない・・・なんて身の程知らずのことを思い浮かべてしまった。他の出席労組の報告も聞いて、刺激を受けて、我が支部の会議終了後の懇親会で、話題にでもするか。それにしてもダイヤ分会が無くなって、タガの外れかかった自分から見るとみんな真面目だな。(JMITU 目黒地域支部/委員長)

「呑み・食べ放題」の屋形船・もんじゃ焼き 大いに楽しみました！

11月19日(日)、快晴の正午過ぎ、墨田川・勝どき桟橋の船乗り場に、大東通信機労組とパスコ労組(家族も)、そして労協役員総勢15人が集合。乗船した屋形船は、かなり大型



の乗合で、お客は総勢60人くらいでした。今回のレクは、大東とパスコ労組の幹事で企画し、両組合より積極的に参加。そこに労協三役が参加した形になりました。お台場まで下った船は、そこでもんじゃ、お好み焼き、焼きそばを調理、呑み放題で満喫しました。両組合の幹事さんが、持ち込みOKの焼肉なども用意してくれ、まさに「呑み放題・食べ放題」状態。結果的に、両組合を含め、参加したみなさんの交流が進んだと思います。またやりたい企画です。(目黒労協事務局次長)



地域での共同の取り組み

わくわく子どもまつり

11月12日(日)、めぐろわくわく子どもまつり。目黒労協は宣伝行動で参加しました。朝9時から会場設営。事前に「雨モード」と決まったため、小学校の大テント3つは体育館の前に設定。それにしても3つが3つとも年代が異なるため、設営は難しい。土建の組合員さんたちはさすが、建物の立て方を知っている。朝10時の開会時から約1時間半宣伝行動。200組のティッシュを5人で配布完了。その後は会場のごみステーションの当番をして終わりました。(目黒労協事務局)



ピースウォーク in めぐろ 後「ガザの事態を憂慮し即時停戦と人道支援を訴える意見書を国に」陳情提出。

11月9日(木)12:10～ピースウォーク in めぐろ。晴天の中、約30名で行進。今日は、目黒銀座児童遊園で解散集会後、目黒区役所へ。目黒区議会にパレスナに平和を、日本政府は平和外交の推進を、と「ガザの事態を憂慮し、即時停戦と人道支援を訴える趣旨の意見書を国に提出して下さい」の意見書採択を求める陳情提出行動。めぐろ労協も賛同団体の一翼を担っています。区議会企画総務委員会で11月28日審議となりました。(目黒労協事務局)



目黒区議会陳情審議

11月28日、目黒区議会各委員会（写真）で提出された陳情の審議が行われました。

ガザの事態を憂慮し、即時停戦と人道支援を訴える趣旨の意見書を国に提出して下さい

めぐろ平和委員会ほか、目黒労協も賛同した陳情労協ホームページに掲載。11月28日の総務委員会審議は、自公会派の賛成で継続審議に。

介護保険料の引き下げを求める

目黒労協も参加する目黒社会保障推進協議会（目黒社保協）からの陳情ですが、11月28日の生活福祉委員会で審議、賛成少数で不採択でした。



公務員確定闘争 決着

目黒区職労朝ビラより→

人事院勧告 8月7日、以下の内容で

- ・ベア平均 3,869円（0.96%）ボーナス年間 0.1月増
- ・初任給:大卒 1万1000円、高卒 1万2000円増
- ・選択的週休3日制を可能に、などが出された。

これを出発点に、都県・市区町村など地方公務員、人勸「準拠」の独立行政法人・大学などで賃金闘争スタート！

非正規公務員格差を許すな

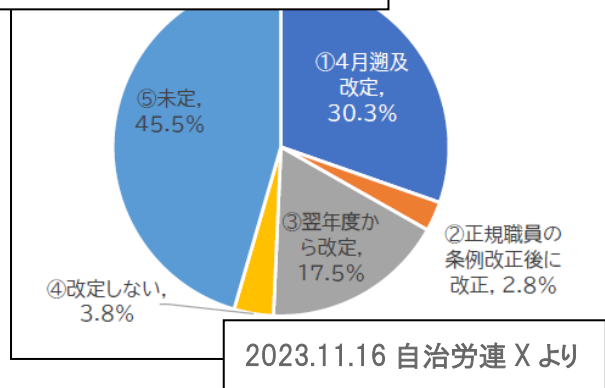
物価上

昇に全く追いつかないベア、また初任給や若年層を中心とした引き上げで、もともと定期昇給が抑制・停止されている高年齢層には、数百円のベアという低額回答ですが、さらに会計年度任用職員（非常勤）にはもっと大きな問題が。

- ★正規は4月にさかのぼって差額、非正規は差額無し
 - ★ボーナスUPも、勤勉手当UPなので非正規は上がりません
- 全国地方公務員の実態が明らかになりました。

特区連決起集会

公務非正規への差額支給



東京都・区の闘い

目黒区でいえば、目黒区役所＝特区連、都立学校・水道など＝都労連が、区長会・都知事と交渉を重ね、決起集会・朝ビラ宣伝、各区・局交渉などの闘いを展開。11月中下旬に、それぞれベア・ボーナスUPと、非正規格差を許さない内容で妥結。関連職場の秋季年末闘争はまだ続きます！



特区連妥結：2023年賃金確定闘争●会計年度任用職員の処遇改善3要求は全て実現！

2023年 加盟労組 & 区内労組/年末一時金要求回答状況

2023年11月28日：現在

	要 求	回 答	昨年実績
大東通信機労組	1.5ヶ月	1.5ヶ月	1.5ヶ月
愛隣会労組	*	2.0ヶ月	2.0ヶ月
パスコ労組	春闘同時要求 年間最低:4.2ヶ月	年間:3.6ヶ月(下限) 冬季:2.0ヶ月、期末:0.6ヶ月	年間:3.6ヶ月 冬季:2.0ヶ月、期末:0.6ヶ月
東工大職組	*国家公務員準拠	期末・勤勉手当(年間) 4.5ヶ月(*前年比0.1ヶ月増)	年間4.4ヶ月 (*前年比0.1ヶ月増)
都庁職南税支部	*都人事委委員会 勧告による	年間4.65ヶ月 (*前年比0.1ヶ月増)	年間4.55ヶ月/年末2.325ヶ月 (*前年比0.1ヶ月増)
都教組目黒支部	*都人事委委員会 勧告による	年間4.65ヶ月/年末2.375ヶ月 (*前年比0.1ヶ月増) 再任用1.25ヶ月・会計年度:1.20ヶ月	年間4.45ヶ月/年末2.325ヶ月 (*前年比0.1ヶ月増) 再任用1.225ヶ月・会計年度:1.20ヶ月
目黒区職労	*特別区人事委員会 勧告による	年間4.65ヶ月/年末2.375ヶ月 (*前年比0.1ヶ月増) *再任用:年2.45ヶ月 *会計年度:新たに勤勉手当支給 +期末手当1.3ヶ月(0.1ヶ月増)	年間4.55ヶ月 (*前年比0.1ヶ月増) 夏2.075、冬2.225、3月:0.25
目黒医療生協労組			*妥結
JMITU 東日本 三菱自動車	春闘時決着済み *年間一時金6.0ヶ月	年間一時金:5.0ヶ月+ α 年末2.5ヶ月(685,250円)	一時金:年間4.0ヶ月 (内訳)夏2.2ヶ月、冬1.8ヶ月
スタンレー電気労組	春闘同時決着済み 年間5.207ヶ月	年間:5.207ヶ月(夏冬折半) (平均153.3万円)	年間一時金:5.3ヶ月(夏冬折半) (平均155.5万円)
郵政ユニオン	春闘同時決着 年間一時金4.5ヶ月	年間4.3ヶ月	年間4.3ヶ月
東京ダイヤ			正社員1.7ヶ月
牧野フリス労組	春闘同時解決済み		888,821円
ミキモト装身具労組			
さわやか信金労組			1.92ヶ月
東急バス労組			
東急ストア労組	業績連動		2.2ヶ月
SBSロジコム労組			458千円

※調査資料：大崎情報センター、労協独自調査などによるものです。

要求&回答情報を、目黒労協にお寄せ下さい